

令和5年度「立科町がんばる地域応援事業」の採択状況について

○この事業は、地域の活性化及び協働のまちづくりを推進するための地域づくり活動に対し、町が補助金を交付するものです。

○今年度も多くの申請をいただき、次の16事業が採択されました。

実施団体及び事業名一覧

No.	実施団体名	事業名	事業年数	概要
1	地域活性美花の会	美しい地域づくり 「花いっぱい」 環境美化推進事業	10	地域の事業者が連携し、地域住民との協働で「美しい町づくり」の一環として、県道沿線周辺に花を咲かせ、人々の心を癒し、魅力づくりを行う。
2	藤沢なごみ会	(「そば」でつなぎ、延ばす、互助の郷)づくり	10	遊休地で「ヒスイそば」を栽培する。そば打ち技術の習得・そば食文化の普及振興に努めつつ地域の皆様への振る舞い会・そば講演会を開催。食(そば談義)と語り(世代交流)を通じて良好な地縁(互助の郷)づくりを図る。
3	JA佐久浅間株式会社アメック	国道142号線JA立科給油所前歩道の花いっぱい運動	8	R142号沿いJA立科給油所前の歩道にある花壇を整備することで、観光客及び地元の人々の目を喜ばせる。
4	カントリーロード花ぐみ	花の道づくりと自然活用学習会	7	「立科町には花と風がよく似合う」をキャッチフレーズに主要道路沿い花壇2カ所の整備を実施し町の景観づくりをすすめる。花のある暮らしと地域の伝統文化・食文化を学習し、持続可能な美しい町づくりを実施する。
5	芦田城址保存会	芦田城址の景観保全・歴史継承プロジェクト	6	立科町指定文化財の「芦田城址」は、未整備の期間が長くなったことで荒廃地となり、竹林が広がり展望も出来なくなり、藪で遠目から看板も確認出来なくなった。そのため、新たに団体を設立し、保存活動、整備活動、歴史継承活動をおこなっていく。
6	野労会	樹木草花による地域美化	4	立科町の佐久市からの入り口、142号野方・茂田井・芦田地域を樹木草花で美化し、町のイメージアップにつなげる。
7	さわやか立科「梅」プロジェクト	さわやか立科「梅」プロジェクト	4	「梅はその日の難逃れ」と言われるほど身体によい効果がある梅。捨てられてしまう梅を有効活用し、高齢施設や保育園、小中学校に配布する。
8	ふれあい演劇塾	演劇講座「みんな輪になれ」	4	子どもから高齢者まで皆で台本をよみ、声を出すことを学び、町の文化祭にあわせ、一つの演劇を仕上げていく。
9	立科町芸術研究会	立科町の芸術活動を発信するプロジェクト	3	コロナ禍により発表の機会が減っている町内のたくさんの芸術団体の発表をYoutubeなどのオンラインで配信する。またコロナ禍の状況をみて、リアル発表会を企画する。
10	どんぐりころころ	どんぐりころころ	2	子どもから高齢者までを対象とし、人形劇・パネルシアター・絵本の読み聞かせ・リズム遊び等を行い、地域住民との交流を図る。町の行事に積極的に参加し、地域の方へ魅力を発信していく。

11	子どもの居場所「ポプラ」の会	子どもの居場所「ポプラ」	2	空き店舗を利用して子どもの居場所づくり、見守りをする。 学校帰りの子どもたちが外で親やバスを待っている現状の対策として行い、又仲間づくりや地域の人たちとの交流を深めることに繋がる。
12	白樺高原音楽祭実行委員会	白樺高原音楽祭「クリスピージャム」	2	多くの音楽愛好家の発表の場を設けることで地域住民との親睦や絆づくりに繋げる。 本格的な音楽家の演奏を鑑賞することで、豊かな情操と人間性を養い、音楽文化の発展に寄与する。
13	蓼科の里 ひまわりプロジェクト	ひまわりで町をいっぱいにしよう	2	コロナ禍において、町の各所に明るい元気なひまわりを咲かせ、高齢者まで一緒に作業又はお花見を行い交流する。荒地対策、健康油で皆が元気になり、また観光振興にも寄与する。
14	立科さくらねこの会	立科さくらねこの会	1	野良猫のTNR、生活支援、要支援が必要な方の多頭飼育案件のお手伝い、その他猫の捕獲、活動を通して適正飼育の啓発を行う。
15	外倉りんご研究会	外倉りんご研究会	1	りんご生産者の仲間で、りんご研究会を発足させて、りんご生産だけでなく、りんごの魅力を高めていく。りんごの加工、スイーツの開発試作を通して地域の活性化を図っていく。
16	話そう支え会おう ハッピースマイル立科	話そう支え会おう ハッピースマイル立科	1	発達に特性をもつ子どもを育てている保護者が安心して子どもの悩みを話し聴いてもらえる場、又、情報交換、先輩ママの経験談、学習会を開催。